

「色彩」があなたを輝かせる

カラーコーディネーター 検定試験[®]

アドバンスクラス

スタンダードクラス



東京商工会議所検定試験
特任アンバサダー
島 耕作
「社会をよくする企業応援プロジェクト」
公式アンバサダー

©弘兼憲史 / 講談社



	申込期間	試験期間	受験料(税込)
第56回	5月17日(金)～28日(火)	6月21日(金)～7月8日(月)	アドバンスクラス 7,700円 スタンダードクラス 5,500円
第57回	9月20日(金)～10月1日(火)	10月25日(金)～11月11日(月)	※CBT方式は、利用料 2,200円(税込)が別途発生します。

カラーコーディネーター検定試験[®]とは

カラーコーディネーション能力を仕事に活かす

オフィスやショップ、ネット上…すべての場所にあふれている色。世相がその年の流行色に反映されたり、商品やデザインの色によって大ヒットが生まれたりと、色彩は文化や時代の流れに大きな影響を与えてきました。色の性質・特性など、色彩の知識を身につければ、色の持つ効果をビジネスシーンで活かすことができます。「仕事に役立つ実践的な色彩の知識を学ぶことができる」それがカラーコーディネーター検定試験です。

試験概要

■IBT・CBTの2方式

※IBT (Internet Based Testing) は、各自のコンピュータで受験する方式。CBT (Computer Based Testing) は、テストセンターのコンピュータで受験する方式。

■試験時間 90分

■多肢選択式

■出題範囲：公式テキストの基礎知識とそれを理解した上での応用力を問います。

■100点満点とし、70点以上をもって合格とします。

試験の詳細は、検定試験ウェブサイトをご確認ください。



各級の基準

アドバンスクラス

スタンダードクラスの知識に加え、ビジネスにおける色彩の活用事例など幅広い知識を有している。

スタンダードクラス

日常から見た色彩に関する基礎的な知識について理解している。

カラーコーディネーター検定試験のポイントが分かるWEB漫画はこちら



検定合格のメリット

カラーコーディネーターとして日常からビジネスまで
幅広い分野で知識を活用でき、活躍の場が広がります!!

ビジネス

サービス・小売

- ・商品のディスプレイ
- ・接客・販売に関するアドバイス

商品開発

- ・色彩提案による商品の開発と販売促進
- ・利用シーンを想定した色彩戦略

建築・インテリア・環境設計

- ・景観設定や商業施設・オフィスのカラーコーディネート
- ・店舗・オフィスの色彩計画のアドバイス

広告・広報企画

- ・グラフィックデザイン、Webデザイン
- ・企業の色に関するイメージ戦略の策定
- ・パワーポイント等プレゼン資料の作成

プライベート

ファッションコーディネート

インテリアコーディネート

試験問題例

スタンダードクラス

Q. 次の文中の[]の部分に、下記の選択肢から最も適切な番号を1つ選びなさい。

色の明度は物の[A]を認識するうえで、非常に重要な色の属性である。明度差が[I]明瞭性が強まる。図1の配色は、ほぼ[ウ]の配色となり、ポスターなどの平面デザインでは一般には推奨されない。

図2のようなインテリアのソファとクッションの配色では、色相関係が[エ]色相の配色になっており、さらに[オ]ためずっきりと見える配色になっている。

図1



図2



v6
dp18

【語群】

- | | | | |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| 【アの語群】 | ① 量 | ② 手ざわり | ③ 形 |
| 【イの語群】 | ① 小さいと | ② 大きいと | ③ 中程度だと |
| 【ウの語群】 | ① 同一明度 | ② 対照明度 | ③ 同一彩度 |
| 【エの語群】 | ① 同一 | ② 類似 | ③ 補色 |
| 【オの語群】 | ① 彩度差が大きい | ② 明度差が大きい | ③ 明度差が小さい |

◎【ア】 ◎【イ】 ①【ウ】 ◎【エ】 ◎【オ】: 景観

主催 東京商工会議所・各地商工会議所

日本色彩学会・日本流行色協会・日本色彩研究所 協力
“カラーコーディネーター検定試験”は東京商工会議所の登録商標です。

【本件担当】 守山商工会議所 検定担当

TEL:077-582-2425 Mail:kentei@moriyama-cci.or.jp